令和６年度 【統計】 関東農政局 静岡県拠点

活かすDBの紹介と統計データを見える化した資料提供について

市町、農業関係団体に農林業センサス、統計データの活用を提案し、地域農業推進に利用してもらえる見える化した資料を作成・提供した。

○ 施策分類

統計

○ きっかけ・背景、課題の把握

統計データの利活用促進を図るため分析担当が設置されたことを受け、地域の農業状況がわかる事例を作成し活用を提案した。

○ 取組の内容

農林水産省のHPの「地域の農業を見て・知って・活かすDB」を活用して地域の状況が一目でわかる資料を事例で作成し管内の全35市町、農業団体に説明した。その結果、10市町と11の農業団体の要請を受け資料を提供した。

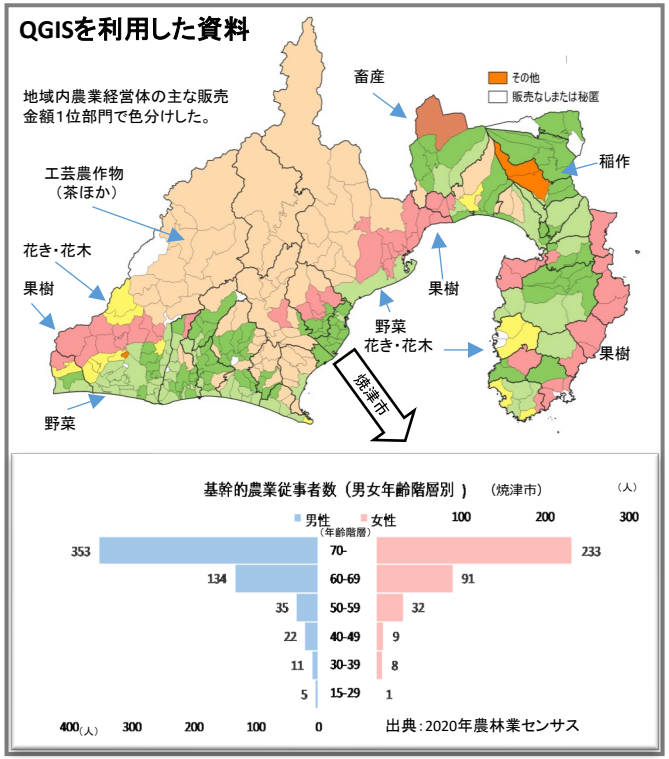
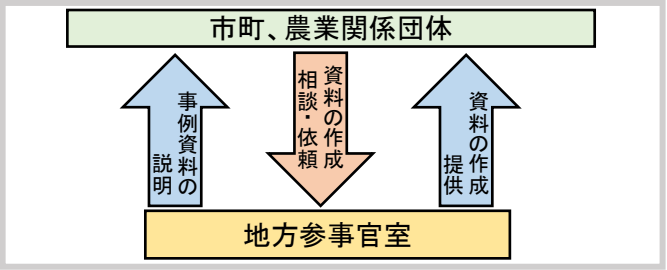
拠点独自に実施している「新任農業担当職員勉強会」（県・市町・農業関係団体向け）で統計データの説明と活用方法を紹介し、QGISの操作も紹介した。

○ 効果・成果、今後の方向性

地域計画の策定のための農業集落別資料、農業保険加入促進に役立つデータ、みかん、茶などの経営体数等の提供依頼及び統計データの所在、用語の解説などの問い合わせが増加した。

農林業センサス調査は知っていても、農業集落別や経営耕地規模別経営体数などが公表されていることを知らない農業担当者が、かなり多かったことから、広報の重要性が理解できた。今後も、相手方のニーズに応じた資料の作成・提供を行っていく。

QGISを利用した資料



体制図